

添付)

ハンディサーマルカメラを用いた発熱者スクリーニングの注意点

1. 推奨される使用環境

測定誤差 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ 以下にするには、以下の環境条件で使用してください。

- ・屋内
- ・無風、対象人物及びカメラに温風等が直接当たらない場所
- ・ストーブ、エアコン等人物より高温を発するものが近くにない場所
- ・直射日光の差し込まない場所
- ・環境温度 $10\sim 35^{\circ}\text{C}$ の範囲内

2. 撮影上の注意

1) 撮影画面内にエアコンの送風口、ストーブ、PC など人物より高温になるものや氷等の極端に低温なものが入らないようにしてください。

(画面内の最高温度を測定表示するので、人物より高温のものが画面内にあるとそちらの温度を測定してしまいます。)

(NG例) エアコン送風口が画面上に入った場合、違うポイントを測定する。



カメラは人物より温度の高い送風口 (カメラ画面の黄色○内の十字) の温度を測定してしまう。

画面内の最高温度の場所の温度を測定するため、高温のものを撮影範囲内に入れないこと。

(例) の画像ではエアコンが画面内に入っているため、人物の温度測定はできない。

2) 撮影する場所は、カメラ及び人物の近くに PC 等の高温を発する機器やエアコン等の環境変化を起こすもののある所を避けてください。エアコンの温風・冷風や PC などの高温物及びその発熱等の影響により温度測定の精度が落ちる可能性があります。

(NG例) モニターが人物のそばにあり、温度測定に影響を及ぼしている。



(NG例) ではモニターが近くにあり人物の温度測定に影響を及ぼして測定温度が高めに出ています。エアコン温風などの風、モニターやPC等の発熱する機器等を測定対象人物の近くに置かないこと。また、直射日光が当たる場所なども日光により壁等の温度が上がるため精度が下がり、使用場所としては推奨しない。

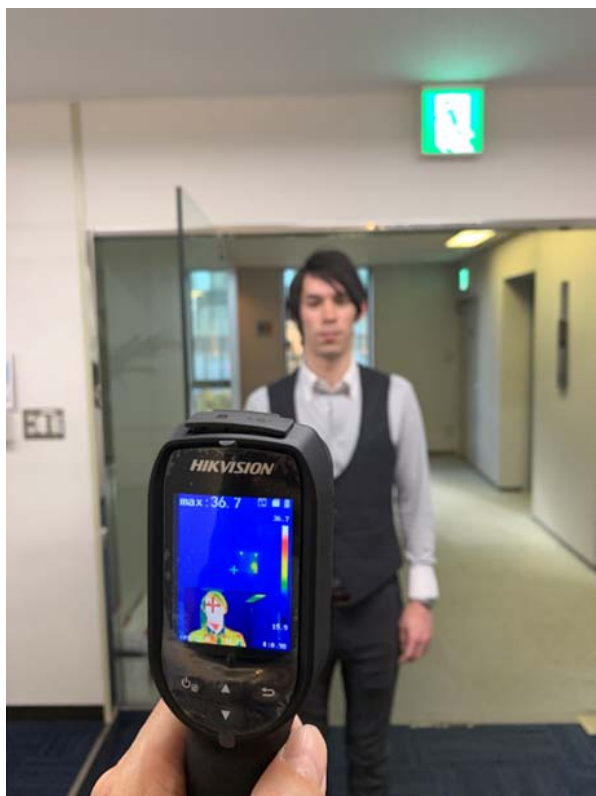
- 3) 屋外や屋外からの風が入り温度が変化しやすい場所等での使用は推奨しません。これらの場所は、環境温度の変化により、温度測定精度が落ちる可能性があります。
- 4) 本製品は電源を入れた後5分以上は予熱してください。電源投入後すぐに温度測定を行うと誤差が大きくなります。
- 5) 本製品を用いた温度の測定は同一の場所で行うことを推奨します。可能であれば電源投入も使用場所で行い、5分予熱後から測定を開始してください。本製品はハンディタイプですが場所を移動しての測定は測定精度が落ちるため推奨しません。場所を移動する必要がある場合には、新たな測定場所で電源 OFF、電源 ON、5分予熱を行ってください。
- 6) 本製品はハンディタイプですが、三脚等に固定して測定することを推奨します。手持ちの場合には手ブレの発生などにより温度測定精度が下がる場合があります。

3. 推奨される使用場所

屋内の温度変化が殆どなく、エアコンの風に影響されない、高温や低温を発生するものが周囲にない場所での使用を推奨します。

この条件から外れた場所で使用する場合には、温度測定精度が落ちます。

(推奨例)



この例の写真の様に、屋内で周囲に高温、低温のものがなく、エアコン及び屋外からの風の影響を受けない一定温度の場所で使用すること。

写真では手持ちとなっているが、できれば三脚等で固定して測定することを推奨。

*サーマルカメラの機能を発揮して仕様想定の高精度で使用するには、各種設定調整及び規定された環境下で使うことが必要となりますので注意してください。